E-Guardian News Release

報道関係者各位

2026 年 11 月 26 日

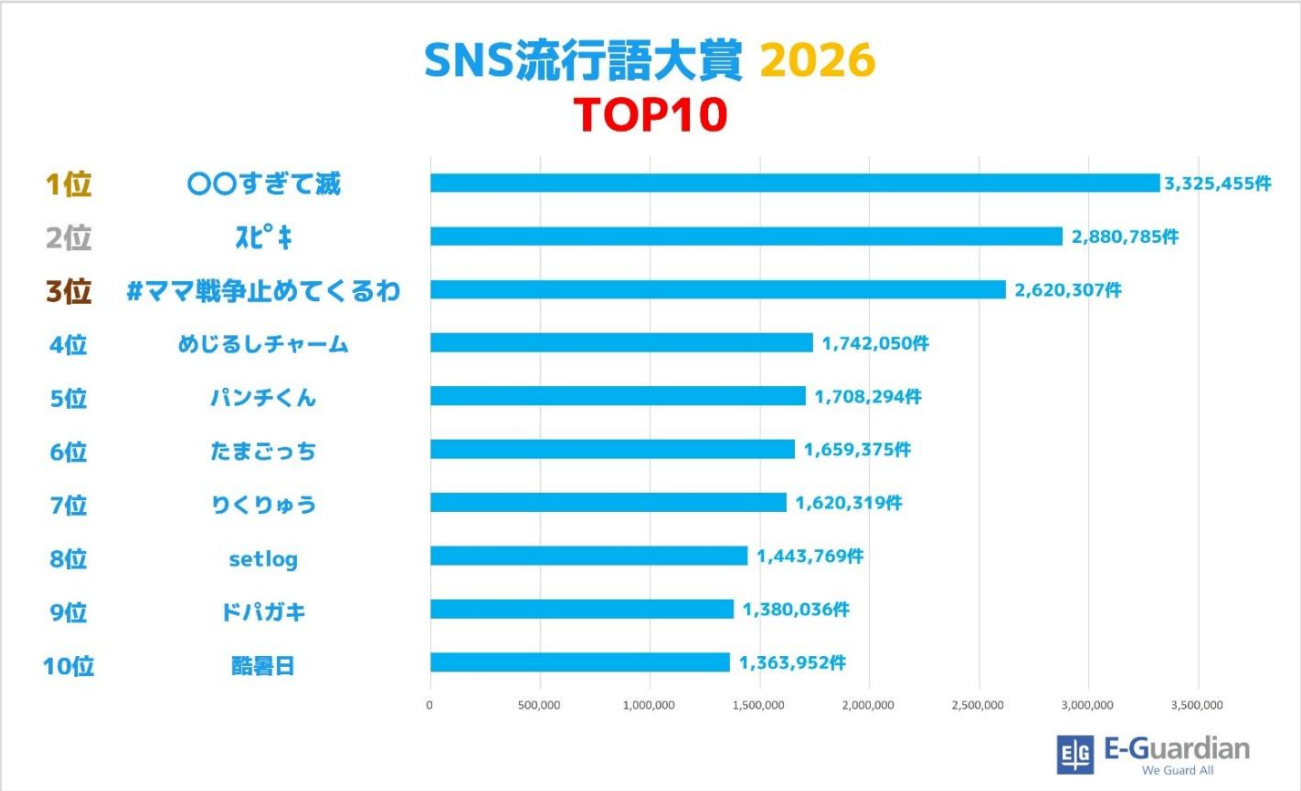
イー・ガーディアン株式会社

総合ネットセキュリティ企業 イー・ガーディアン実施

SNS 流行語大賞 2026 は、『〇〇すぎて滅』に決定！

～ゲームは『トリッカル』、漫画・アニメは『呪術廻戦』、ドラマ・映画は『超かぐや姫！』、食べ物・モノは『シール帳』が 1 位に～

イー・ガーディアン株式会社（東京都港区、代表取締役社長：高谷 康久、以下「イー・ガーディアン」）は、2026 年 X(旧 Twitter)で頻繁に使用されたフレーズを調査し最もつぶやかれたフレーズである「SNS 流行語大賞 2026」（2026 年 1 月 1 日～2026 年 10 月 31 日）を発表いたします。今年の大賞は、累計 330 万回以上つぶやかれた『〇〇すぎて滅』に決定いたしました。またカテゴリごとに、ゲーム部門は『トリッカル・もちもちほっぺ大作戦』、漫画・アニメ部門は『呪術廻戦 死滅回游 前編』、ドラマ・映画部門は『超かぐや姫！』、食べ物・モノ部門には『シール帳』が 1 位に輝きました。



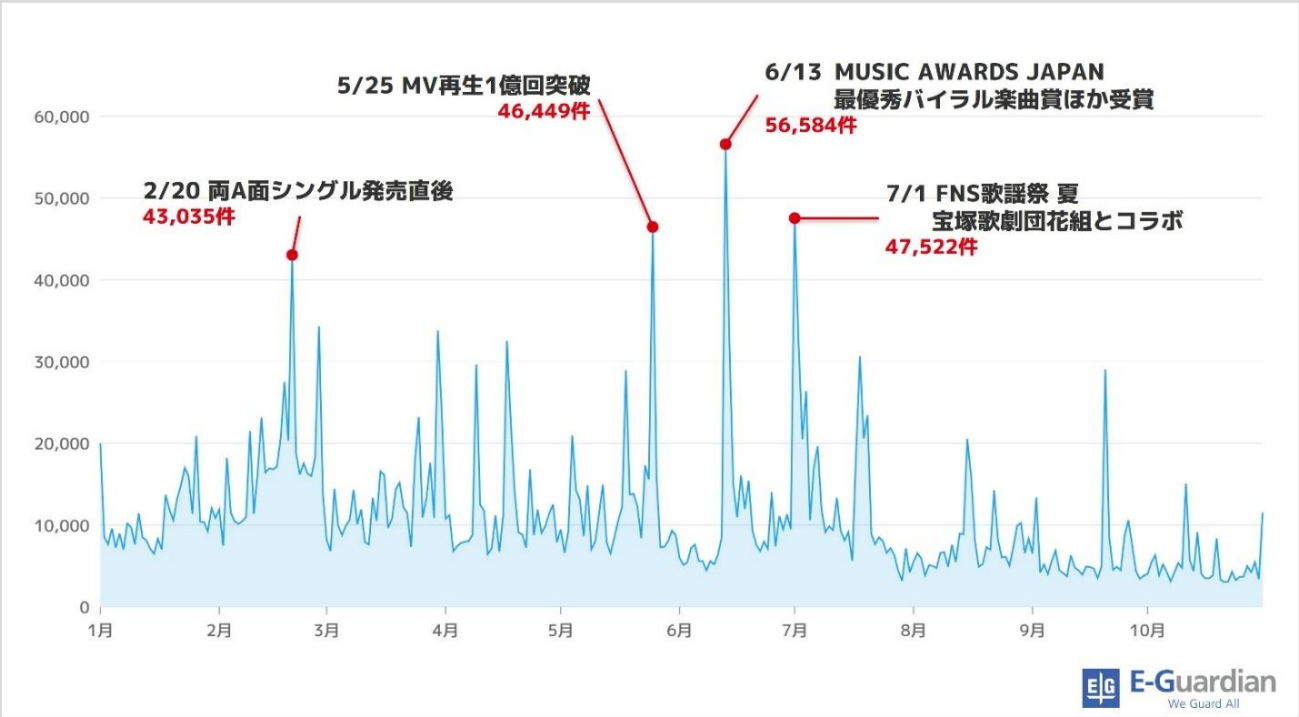
イー・ガーディアンは、安心・安全なインターネット環境の実現に向け、投稿監視、ソーシャルリスニング、ネットパトロール、カスタマーサポート、デバッグ、脆弱性診断などネットセキュリティに関わるサービスを一気通貫で提供しております。日々のソーシャルリスニングで蓄積したデータをベースに、イー・ガーディアンが今年 X（旧 Twitter）で広くつぶやかれたワードを独自で調査し、その年に最も多く投稿された（バズった）ワードを決める「SNS 流行語大賞」。8 度目となる 2026 年は『〇〇すぎて滅』が見事大賞に輝きました。

『〇〇すぎて滅』は、5 人組ダンスボーカルグループ M!LK の楽曲「好きすぎて滅！」から生まれた言葉です。「好き」の部分を自由に入れ替えて使える手軽さから、推しへの思いを伝える投稿だけでなく、日常の出来事への感情表現としても幅広く使われました。楽曲の振り付けである“滅ポーズ”を真似した画像や動画の投稿も多く、言葉とポーズがセットで広がったことも特徴です。

話題量のピークは、M!LK が「MUSIC AWARDS JAPAN 2026」で最優秀バイラル楽曲賞などを受賞した 6 月 13 日で、1 日で約 5.7 万件を記録。その後も音楽番組やイベントのたびに投稿が大きく伸びていました。投稿者の男女比は女性 64%、男性 36%※1 で、男性も 3 人に 1 人以上を占めています。「可愛すぎて滅」「上手すぎて滅」など、ファンに限らず多くの人が日常的に使うフレーズとして広がったことがうかがえます。

※1 公開プロフィールをもとに性別を推定できた投稿者を対象に算出

『〇〇すぎて滅』話題量 日別推移（2026 年 1 月 1 日～2026 年 10 月 31 日：リポスト込み）



2 位の『ｽﾋﾟｷ』は、スマートフォン向けゲーム『トリッカル・もちもちほっぺ大作戦』に登場するキャラクター“スピッキー”から生まれたネットミームです。スピッキーの韓国語版の泣き声などが、ほかの楽曲やセリフと組み合わせた音 MAD 動画として広まりました。もともとは韓国で流行していたミームですが、2025 年 10 月にゲームの日本版が配信されたこともあり、日本でも動画サイトや X を中心に拡散しました。

3 位の『#ママ戦争止めてくるわ』は、2026 年 2 月の衆議院議員選挙の期間中に、作家の清繭子さんが期日前投票に向かう際の一言を X に投稿したことから広がったハッシュタグです。2 月 6 日には X のトレンド 1 位となり、「パパも戦争止めてくるわ」など、自分の立場に置き換えた投稿も多く見られました。一方で、選挙後にはこのハッシュタグの広がり方をめぐってさまざまな意見が交わされるなど、賛否を含めて大きな議論を呼んだワードとなりました。

4 位には『めじるしチャーム』、5 位には『パンチくん』がそれぞれランクイン。『めじるしチャーム』は傘やペットボトルなどに付けて自分の持ち物の目印にするチャームで、カプセルトイを中心に人気となり、集めたチャームを披露する投稿が多く見られました。『パンチくん』は市川市動植物園で暮らすニホンザルの子ザルで、飼育員から与えられたオランウータンのぬいぐるみを母親代わりのように抱きしめる姿が大きな話題となりました。

上位ワードは例年と同様、真似したりアレンジしたりして参加できるものが中心となりました。中でも今年は、楽曲やゲームから生まれた言葉に加え、社会の出来事や身近なアイテム、動物など、幅広いジャンルのワードがランクインする結果となっています。

■イー・ガーディアン　SNS 分析担当　コメント

今年の SNS 流行語大賞はいかがでしたか？TOP10 には、楽曲やゲームから生まれた言葉だけでなく、ニュースや天気、動物、アプリまで、さまざまなジャンルのワードが並びました。ひとつの大きな話題が独占するのではなく、日々の暮らしの中で見聞きしたことが、それぞれ SNS で盛り上がった 1 年だったように感じます。

また、TOP30 を見ると、『めじるしチャーム』『たまごっち』『ボンボンドロップシール』など、集めて楽しむアイテムや懐かしさを感じるアイテムが多くランクインしたのも今年の特徴です。手に入れたものを写真で披露したり、友達と交換したりと、SNS が「好きなものを見せ合う場」として使われている様子がうかがえます。もしかしたら来年は、皆さんが今集めているアイテムが流行語になるかもしれませんね！

11～30 位の順位や詳細などは、下記ブログでも紹介しておりますので是非ご覧ください！

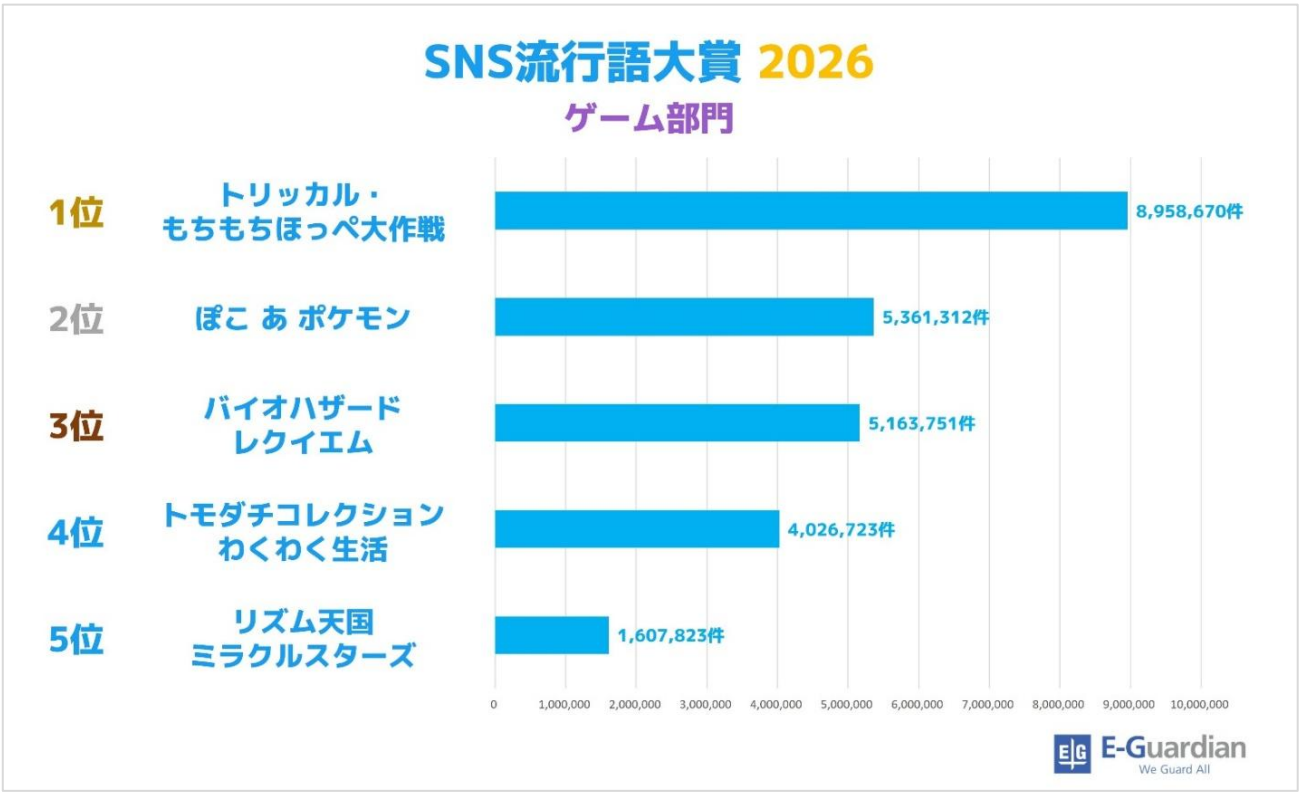
・ブログ URL　　：https://www.e-guardian.co.jp/blog/20261126.html

・ノミネート発表 URL：https://www.e-guardian.co.jp/info/2026/20261113.html

■カテゴリ別話題量ランキング

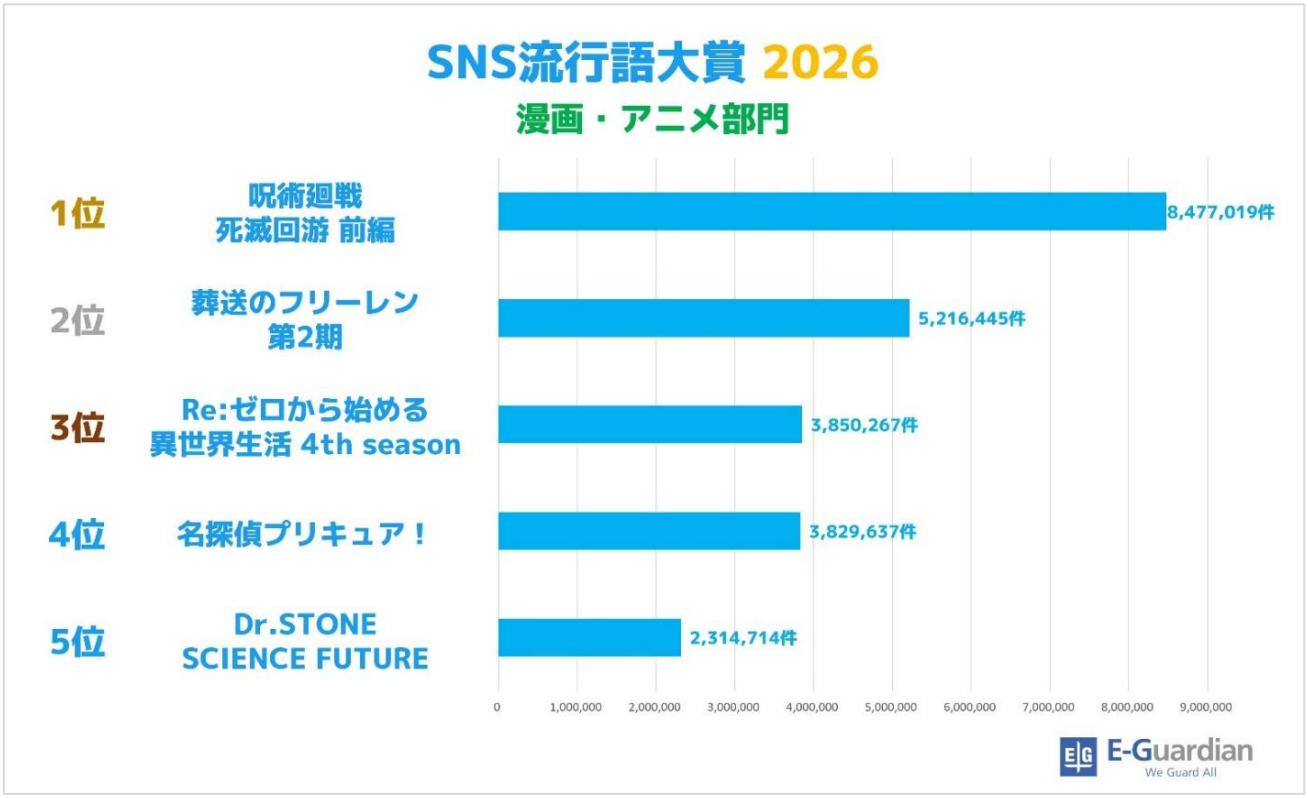
さらに、「ゲーム」「漫画・アニメ」「ドラマ・映画」「食べ物・モノ」の各部門において最も多くつぶやかれたトピックを調査し、各部門における流行語大賞も併せて発表いたします。

【ゲーム部門】



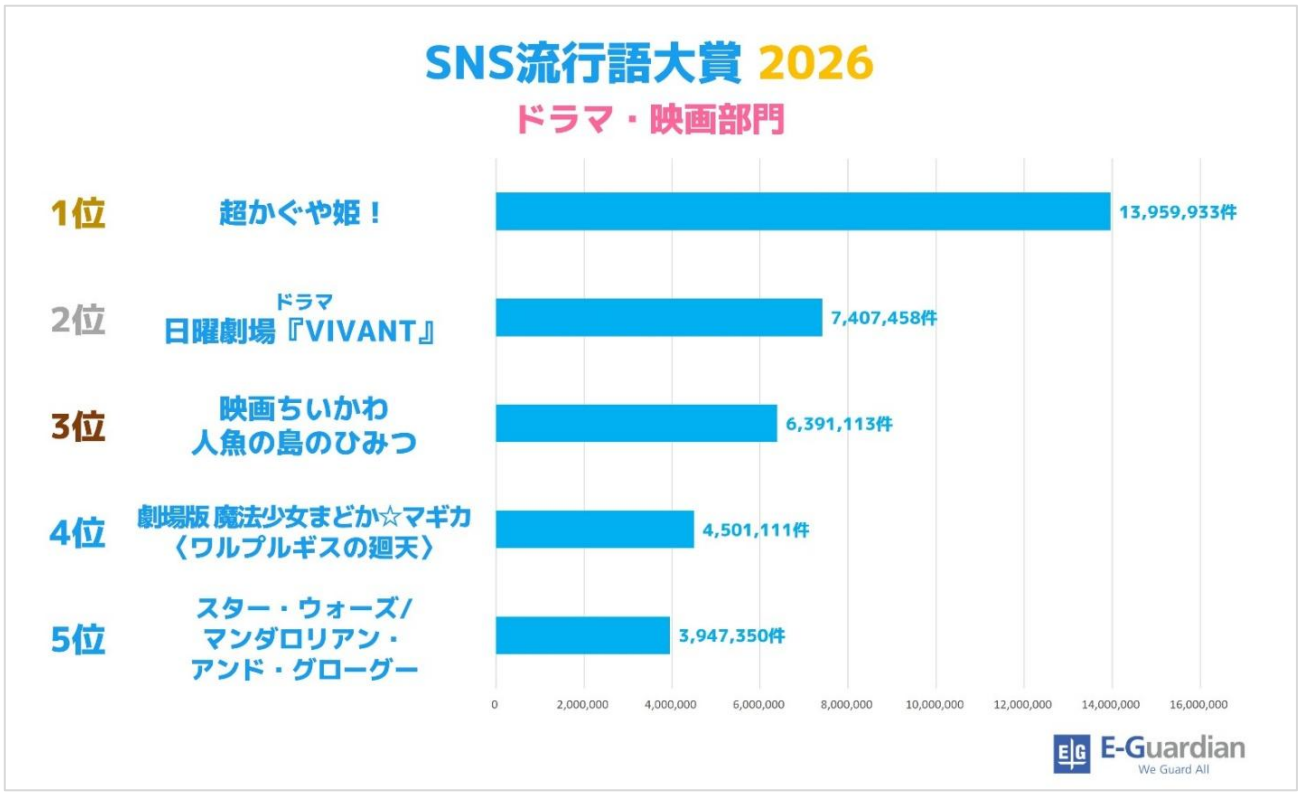
ゲーム部門では、総合 2 位『ｽﾋﾟｷ』の元となった『トリッカル・もちもちほっぺ大作戦』が約 896 万件で 1 位を獲得しました。2025 年 10 月の日本版配信から間もない作品ながら、ミームの流行が作品そのものの話題量も押し上げたと考えられます。2 位の『ぽこ　あ　ポケモン』は、ニンゲンの姿に変身したメタモンがポケモンたちと街づくりをするスローライフ・サンドボックスゲームで、3 月の発売直後から大きな話題となりました。3 位にはシリーズ最新作『バイオハザード　レクイエム』、4 位には約 13 年ぶりの新作『トモダチコレクション　わくわく生活』、5 位には約 11 年ぶりの新作『リズム天国　ミラクルスターズ』がランクインし、待望の新作に対する期待と反響の大きさがうかがえる結果となりました。

【漫画・アニメ部門】



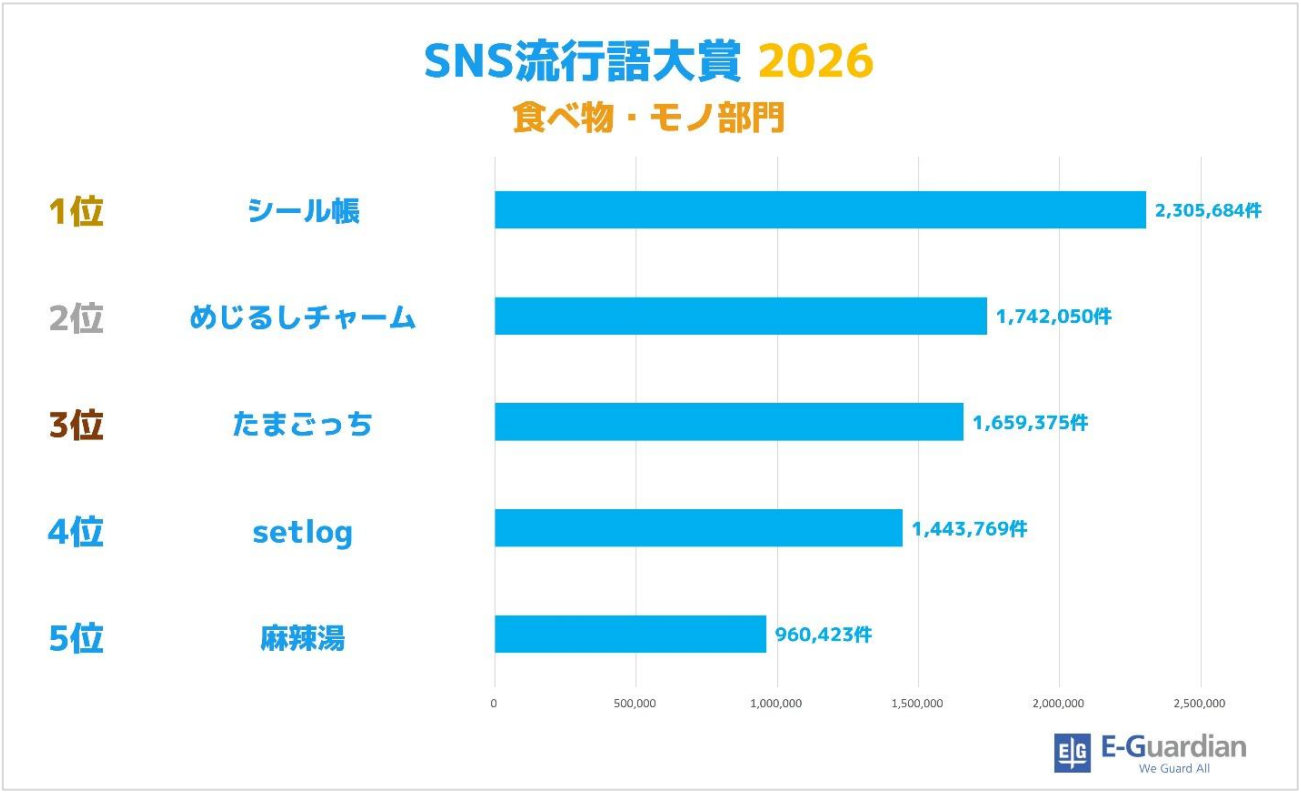
漫画・アニメ部門では、1 月から放送された TV アニメ第 3 期『呪術廻戦 死滅回游 前編』が約 848 万件で 1 位に。2 位は『葬送のフリーレン 第 2 期』、3 位は『Re:ゼロから始める異世界生活 4th season』、5 位には最終シーズンとなる『Dr.STONE SCIENCE FUTURE』と、人気シリーズの続編が上位を占めました。4 位の『名探偵プリキュア！』はシリーズ第 23 弾で、初の“探偵”をモチーフにしたプリキュアとして話題を集めました。

【ドラマ・映画部門】



ドラマ・映画部門は、日曜劇場『VIVANT』や『映画ちいかわ 人魚の島のひみつ』など話題作が並ぶ中、Netflix 映画『超かぐや姫！』が約 1,396 万件で 1 位に。1 月の配信開始後、劇場での上映も拡大され、作品への感想などの投稿が数多くリポストされました。2 位の『VIVANT』は、2023 年にもドラマ作品として唯一同部門にランクインしており、7 月から 2 クール連続で放送された続編で大きな注目を集めました。なお、リポストを除いた投稿数では『VIVANT』が 1 位となり、ファンの投稿がリポストで一気に広がった『超かぐや姫！』と、視聴者が自分の言葉で感想や考察を投稿した『VIVANT』という、話題の広がり方の違いも見えました。3 位には“ちいかわ”初の映画作品『映画ちいかわ 人魚の島のひみつ』がランクインしました。

【食べ物・モノ部門】



食べ物・モノ部門の 1 位は『シール帳』。平成女児文化のリバイバルとして、シール帳を持ち寄ってシールを交換する遊びが子どもから大人まで広がり、なかでもぷっくりとした立体シール『ボンボンドロップシール』が人気の中心となりました。2 位の『めじるしチャーム』、3 位の『たまごっち』と、総合 TOP10 にもランクインしたアイテムが続き、4 位には 1 時間ごとに約 2 秒の動画を撮影して 1 日の Vlog を自動で作るアプリ『setlog』がランクイン。5 位の『麻辣湯』は昨年に続いてのランクインとなり、ブームの定着がうかがえます。

■調査概要

調査媒体：X（旧 Twitter）

調査期間：2026 年 1 月 1 日～2026 年 10 月 31 日

※X 上での話題量などをもとに選定したものであり、特定の個人・団体・作品・主張を評価したり支持したりするものではありません。

※各ワードの説明は、SNS 上での主な使われ方をまとめたものです。

※文中の商品名、会社名、団体名、作品名は、各社・各権利者の商標または登録商標です。

【イー・ガーディアングループ 概要】

1998 年設立。2016 年に東証一部上場。2022 年に東証プライム市場へ移行。イー・ガーディアンはネットパトロール、カスタマーサポート、デバッグ、脆弱性診断などネットセキュリティに関わるサービスを一気通貫で提供する総合ネットセキュリティ企業です。センターは、提携先を含めてグループで国内 8 都市海外 3 都市 18 拠点の業界最大級の体制を誇ります。昨今は Fintech・IoT 業界への参入や AI・IT 活用による DX 推進、セキュリティ関連サービスの拡充など、時代を捉えるサービス開発に従事し、インターネットの安心・安全を守っております。

■イー・ガーディアン株式会社 会社概要

代表者　　：代表取締役社長　高谷 康久
所在地　　：東京都港区虎ノ門 1-2-8 虎ノ門琴平タワー8F
設立　　：1998 年 5 月
資本金　　：1,967 百万円(2026 年 9 月末日現在)
業務内容　：ブログ・SNS・掲示板企画コンサルティング/リアルタイム投稿監視業務/ユーザーサポート業務/
オンラインゲームカスタマーサポート業務/コンプライアンス対策・風評・トレンド調査業務/
コミュニティサイト企画・サイト運営代行業務・広告審査代行サービス業務/人材派遣業務
URL　　：https://www.e-guardian.co.jp/